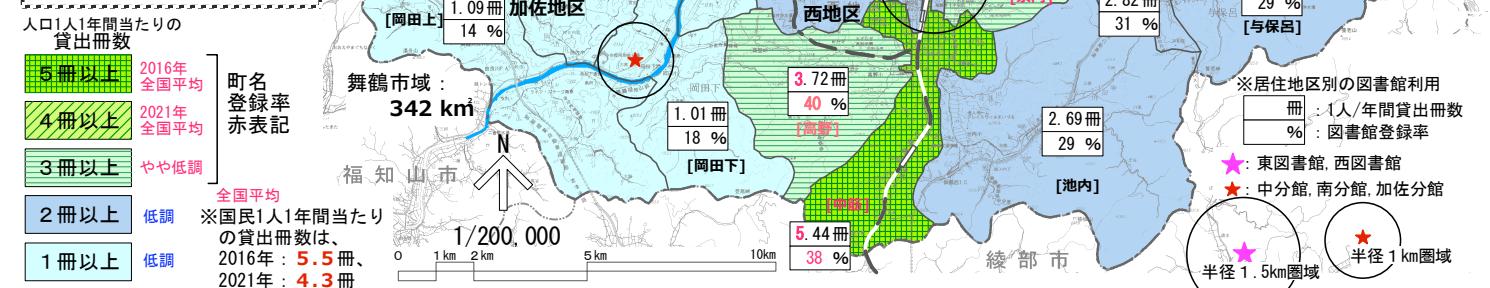


舞鶴市図書館と図書館協議会は、この基本計画に先立ち図書館の課題と解決の方向性を数年調査研究しました。基本計画では昨年度に、都市計画的視点かつ図書館政策的視点で「いまと課題」を再確認し、審議会体制となった本年度は、課題解決のために計画の協議を重ね、基本計画答申をまとめました。舞鶴市はこれを元に図書館基本計画とその概要版で「図書館ビジョン」を市民皆さんに開示しています。

1. 舞鶴市図書館のいまを確かめる

- 居住人口の減少率を超える「市民の図書館利用の低迷」がついている。
(登録率減少・貸出冊数減衰)
 - 現代の切実な「社会の要求」と、現実の「図書館サービス」とのズレが推測される。
(格差・弱者支援・社会包摂)
 - 「都市環境 / 市民のくらし」と「図書館サービス体系/体制」とのズレが推測される。
 - (地域別の利用格差・身近さ)
 - 「施設的な魅力として限界(環境の広さ、図書収容力、老朽化、維持継続のための改修投資の有益性に疑問)
 - 「資料・情報環境の深化」への対応の遅れが顕著になる
(低調な政策投資や資料費、職員体制構築、専門化育成)
 - 図書館分館・学校図書館は「地域サービス拠点の充実策」の政策的関心が低かった。
(市民からの信頼/需要の萎縮)
 - 図書館政策投資効果・実績
図書館への市民的な支持共に負のスパイラルが表れる
(政策投資と市民満足度相関)



2. どんな図書館であるべきか、 舞鶴市民がのぞむ図書館をめざして

- 「図書館の本質性」を確かめた
 - ライブラリー(図書館)システムだということ
 - 成長する有機的な社会的しくみだということ
 - だれもが、いつでも、自由に、包まれる場、**都市の広場**だということ
 - 「図書館サービスの3原則」を展開させる
 - <市民が資料情報に出会う> 貸出や市民の調査利用を支えることを重視します。
高度な専門的情報を蓄え、地域社会・地域生活に役立つ課題解決型図書館に脱皮する。
 - <社会が支えるべき順番> 子どもや社会的弱者へのサービスを重視します。
多様な子どもたちや社会的弱者に向き合う、多角的な包摂サービスを展開する。
 - <ライブラリーシステム> 全市域全域へのサービス網の構築に取り組みます。
舞鶴市全域へサービスがつながる、図書館システムに再編していく。



3. 新しい舞鶴市図書館のあり方とサービスを計画する

- 舞鶴市の市民と地域へ、図書館がめざす「4つの約束」をかける

- 舞鶴市図書館は、「子どもや社会的弱者をささえる」「社会包摂の一翼をになう」「社会の各種格差や課題に向き合う」「京都北部広域連携の中核をになう」

舞鶴市図書館は、市民がのぞむ図書館をめざし、約束をはたすために成長をつづける。そしてこの「図書館の成長」の源泉である4つの要素について、真摯にむきあう。

- (1) 人 : 図書館員/司書専門職 : 知見、情熱、矜持、スキル(選書、レファレンスなど専門性)
 (2) 資料 : 本/もの/情報/こと : 資料費、基本図書量、新鮮な資料の量、資料展示表現性
 (3) 施設 : 場/建築/家具/環境 : 本と人の居心地、機能性、可変性、広場性、市民性
 (4) 市民 : 利用者/主人/判定者 : 友情、理解、寛容、学び続ける知見(行政と市民と図書館)

● 「舞鶴市をおおう図書館サービス網」を再編する

ての市民に、適切な図書館サービスがつながるために、住民生活圏や地域拠点や移動手段を把握。中央図書館や分館図書室や、自動車図書館のサービスポイントをネットワークして、おおきなづくりのように図書館システムを再編する。舞鶴市図書館整備を、建物や建設のことではなく、「社会システムデザイン」としてとらえて、このたびの図書館基本計画を4つの施策で組み立てる。

- (1) 舞鶴市図書館システムのセンターとなる新中央図書館(人・資料・施設)を整備する。
 - (2) 5地区に図書分館機能を「情報の蛇口」として定点配置して、連携と活性化する運営をめざす。
 - (3) 地域サービス拠点・施設100箇所を想定して、自動車図書館(BM)を定期運行する。
 - (4) 小中学校図書館の整備充実施策を支援し、ひとつの舞鶴市図書館システムとして連携する。

- 基本的図書館サービスの深化と高度で専門化された新しいサービスを提供する

までの日本の図書館で展開してきた「基本的図書館サービス」(全域・こども・貸出)についても、年の蓄積を経てそれぞれ各地で発展や深化が続いている。舞鶴市図書館はこの方向性をめざす。

- (1) 「専門性が深化し充実した基本的図書館サービス」
 - (2) 「全域奉仕・地域拠点支援・アウトリーチサービス」
 - (3) 「舞鶴全市図書館システムのセンター機能」
 - (4) 「多様な市民と活動を支えるサービスと場の提供」
 - (5) 「時代が求める高度で専門化された図書館サービス」

※ サービスについての詳しい内容は「舞鶴市図書館基本計画」本編をごらんください

- 中央図書館への出掛けやすさ、アクセスしやすさを整える

- 央図書館には自動車利用に十分な駐車場を整備する。
央図書館へ交通弱者を支える公共交通システムを整える。
央図書館に各方面からつながるバス路線再編の必要性
基本計画審議会は答申している

● BM、自動車図書館がとどける、地域へのサービス

- 或奉仕のための**自動車図書館(BM)**
サービスの運行を立ち上げたい。
書館から遠い半分の市民に届くように
Mアウトリーチサービスを立ち上げたい

● 小・中学校図書館の充実方策と公共図書館からの連携支援 方法を提案する

- 学校図書館充実方策を立案し具体化する準備推進体制を立ち上げたい。
文科省通知と**第6次5カ年計画**で学校図書館の充実を立案したい。
共図書館は、**全市図書館システムとして**学校図書館充実を支援したい。

- 京都府北部地域の広域図書館連携を推進する 具体的メニューを提案する

- 舞鶴市図書館の達成したいサービス目標値と政策投資規模を提案する

図書館開館5年先の当初目標値、10年先の中期目標値の達成をめざします。

- 市民1人あたりの年間貸出冊数(貸出密度). □登録率. □登録者1人あたりの貸出冊数(実質貸出密度).
□市民1人あたりの資料費. □市民1人あたりの蔵書冊数. □蔵書回転率. □1日あたりの平均貸出者数



4. 新中央図書館のはたすべき役割<収蔵資料規模と施設面積>をイメージする

- 資料配置計画：将来的蔵書構築目標と施設収容能力を基本計画審議会で検討した。

<開架室に配置する想定資料数>

: 170,000冊 + α

<準開架に集約配置する資料数>

: 100,000冊 + α

※目指すべき開架系資料数を先進例から30万冊とした。

左収容合計は27万冊+ α だが、運用で上記目標を満足できる。

<閉架書庫に収蔵できる資料数>

: 200,000冊

※東西館の開架資料合計は157,000冊。約2倍、30万冊の提供を目標とする。

<地域BM奉仕・学校支援・整理作業書庫収容数>

: 44,000冊

※分館の資料入替えや、動かない資料の引き取りと収蔵を閉架書庫で行う。

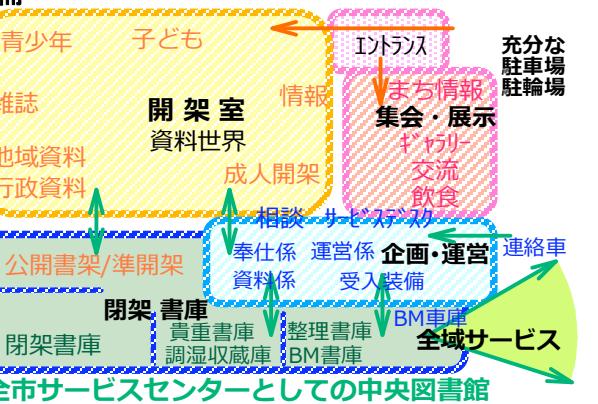
<<中期目標としての計画蔵書数 合計>>

: 514,000冊

- 新中央図書館を構成する各場の機能と面積配置を基本計画審議会で検討して、総床面積 4000m²案が答申された。

<中央図書館の4つの役割>

- 図書館として専用の構成床面積 : 3700m²~
- 市民交流／多目的フリースペース : 300m²~
- 敷地内駐車場台数 : 140台 + バイク置場
- 駐輪場台数 : 140台
- 浦西、降雪に対応する屋外環境 : 工夫を要す



5. 新中央図書館に相応しい敷地をさがす

全ての舞鶴市民の希望は「専門性が高く資料情報の奥行きが深い中央図書館が欲しい」であって、「行きやすい中心市街地の駅前」にあって、車利用や公共交通との連携がされた便利な場所であることを想定した。このような視点のうえで、全市的な都市計画から中央図書館が置かれるべき適地を以下のように考えて、方法性を絞りこんだ。

1. 舞鶴市の都市計画「まちづくり基本方針」から考えると

→「中央図書館は【都市機能誘導区域】への立地を原則とする」と理解された。

2. 東地区及び西地区の「都市機能誘導区域」から探すと

- (1)その必要条件としては、①充分な敷地面積があること ②公共用地が望ましいこと だった。
- (2)2つの要件を満たすのは、

①東地区では「東舞鶴駅南公園」 ②西地区では「西舞鶴駅東口土地開発公社所有地」だった。

3. より適地性が高いとされた「西舞鶴駅東口候補地」への評価を整理すると、

- 都市計画マスターplan、立地適正化計画におけるふさわしい敷地の位置づけにかなう。
- 西駅西口広場整備と相まって、舞鶴市の玄関口として相応しいまちづくりに効果がある。
- 西地区のみならず、舞鶴市全体の都市イメージ向上につながり、充分な敷地広さを持つ。
- 複数の公共交通結節点であり、5市2町広域連携にかなうアクセシビリティが高い敷地である。
- 西駅に付帯する交流センターの更なる利活用にとっても、プラスの相乗効果が見込める。
- 西駅の利用者は東駅よりも多く、高校生が多いことも、活気の創出が期待できる。
- 西駅東口の未利用地は、これまで民間参入による都市機能集積が見込まれなかつたが、この、公共的かつ都市的機能誘致は、舞鶴市中心市街地活性化の絶好な機会になりうる。

